

『薬トレ 感染・がん』正誤表

いつも小社出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。
当該書籍について、以下の誤りがございました。深くお詫びするとともに、ここに訂正いたします。

■目次 ix, 223 頁ツメ(症例 110 の分類)

【誤】大腸癌

【正】**前立腺癌**

■192 頁(症例 95)解説 1, 上から 5 行目

【誤】本症例では、血液から分離されており、表上段のとおり、ア、イのいずれかに該当する場合、CRE と定義される¹⁾が、アはメロペネムの MIC が $1\mu\text{g/mL}$ 以下であり該当しないが、イはいずれも該当しており、CRE である。

【正】本症例では、血液から分離されており、厚生労働省の届出に関する定義¹⁾におけるイミペネムおよびセフトゾールの MIC 値が基準を満たしており、CRE である。

■390 頁(症例 193), 解答

【誤】問 1 ②, ⑤ 問 2 ②, ⑤ 問 3 ②, ⑤

【正】問 1 ①, ⑤ 問 2 ②, ⑤ 問 3 ①, ②, ⑤

■391 頁(症例 194), 問 3 選択肢②

【誤】メトトレキサート血中濃度 $4\times 10^{-7}\text{mol/L}$ を確認できるまで補液の延長を提案。

【正】メトトレキサート血中濃度 $1\times 10^{-7}\text{mol/L}$ を確認できるまで補液の延長を提案。

■392 頁(症例 194), 解説右カラム 5「行目

【誤】本症例におけるメトトレキサート投与終了 7 時間後の血中濃度は、～

【正】本症例におけるメトトレキサート投与終了 72 時間後の血中濃度は、～

■410～411 頁(引用文献)

【誤】

症例 102

- 1) Espinosa Lara P, et al:Actas Dermosifiliogr, 107:71-73, 2016. (PMID:26232309)
- 2) Grothey A, et al:Lancet, 381:303-312, 2013. (PMID:23177514)

症例 111

- 1) 大鵬薬品株式会社:ティーエスワン®適正使用ガイド.
- 2) 中外製薬株式会社:「胃癌」に用いる際にゼローダ®錠適正使用ガイド, p25, 2016.
- 3) Superfin D, et al:Oncologist, 12:1070-1083, 2007. (PMID:17914077)
- 4) Fuse N, et al:Gastric Cancer, 20:332-340, 2017. (PMID:26956689)
- 5) Kimura Y, et al:Gastric Cancer, 6(Suppl 1):34-39, 2003. (PMID:12775018)
- 6) 桜本信一ほか:最新医学, 64:1075-1080, 2009.

【正】

症例 102

- 1) 大鵬薬品株式会社:ティーエスワン®適正使用ガイド.
- 2) 中外製薬株式会社:「胃癌」に用いる際にゼローダ®錠適正使用ガイド, p25, 2016.
- 3) Superfin D, et al:Oncologist, 12:1070-1083, 2007. (PMID:17914077)
- 4) Fuse N, et al:Gastric Cancer, 20:332-340, 2017. (PMID:26956689)
- 5) Kimura Y, et al:Gastric Cancer, 6(Suppl 1):34-39, 2003. (PMID:12775018)
- 6) 桜本信一ほか:最新医学, 64:1075-1080, 2009.

症例 111

- 1) 有害事象共通用語規準 v5.0 日本語訳 JCOG 版
- 2) Espinosa Lara P, et al:Actas Dermosifiliogr, 107:71-73, 2016. (PMID:26232309)
- 3) Grothey A, et al:Lancet, 381:303-312, 2013. (PMID:23177514)

2020年11月現在